

令和 2 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 61 回放射線管理研修会) アンケート調査のまとめ

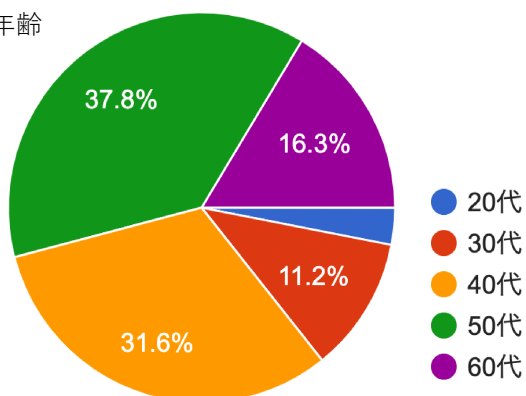
令和 2 年度放射線取扱部会年次大会実行委員会

令和 2 年度放射線安全取扱部会年次大会は、令和 2 年 11 月 2 日から 30 日までの期間、Web 上で開催された。年次大会実行委員会では、参加者の動向を把握し、今後の部会活動や大会運営の充実を図るため毎年アンケート調査を実施している。今回は、参加登録者 297 名に対して Web アンケートを行い、98 名から回答を得た（回答率 33%）。その結果を以下に報告する。

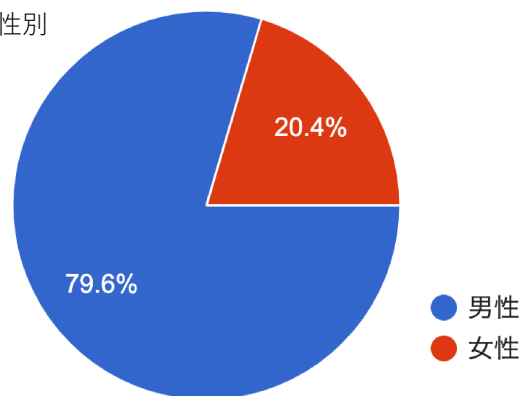
1. 参加者について

年齢分布は 40 歳代、50 歳代が全体の約 70%、男女比は約 8:2、所有する免状等（複数回答可）は第一種放射線取扱主任者が 85.7%と圧倒的に多く、身分（複数回答可）は多岐にわたるが一般職（技術系）が最多を占めた。これらの結果からは、典型的な参加者として働き盛りの年代の技術職・放射線取扱主任者の男性、という像が見える。

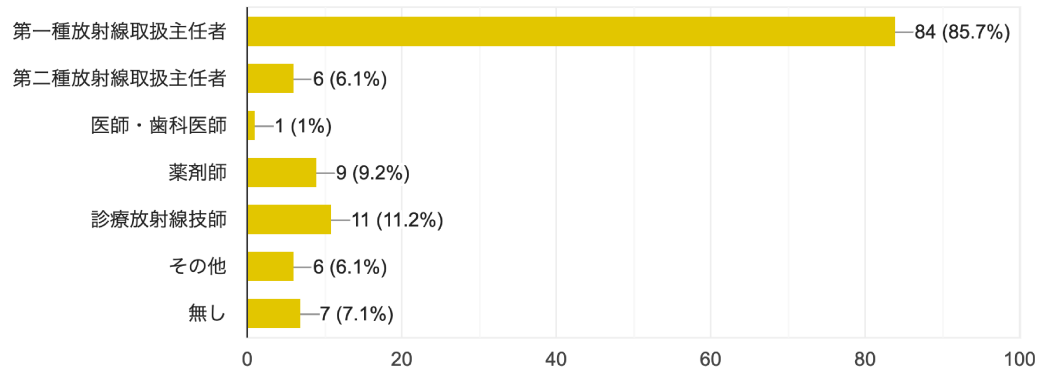
Q1 年齢



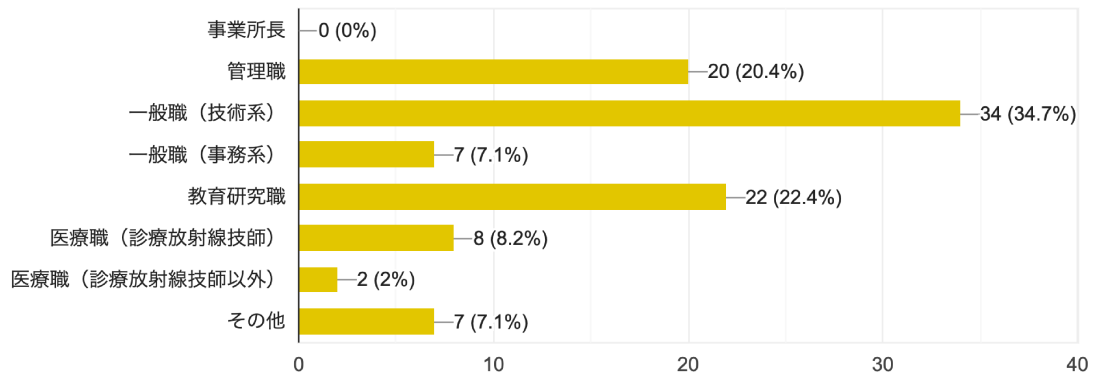
Q2 性別



Q3 所有免状等

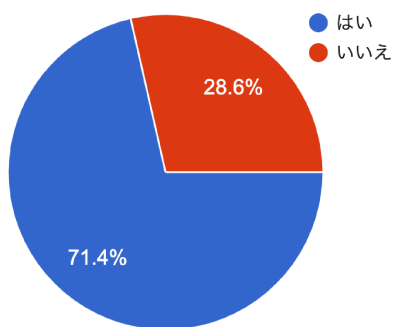


Q4 身分

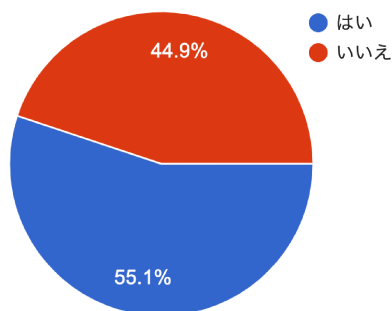


参加者のうち、日本アイソトープ協会の会員は約 70%で、逆に見れば約 30%の参加者は会員外であるにも関わらず参加登録されたということになる。また放射線安全取扱部会員も 50%強にとどまった。さらに、前回（岡山大会）は毎年参加するという回答が 50%以上、初めて参加するは 16%であったが、今回は毎年参加が 38%に減少、それに対して初めて参加するが 20%と僅かに増加した。無料 Web 開催のために門戸が広がったと考えられる反面、従来のオンサイトでの情報交換を期待して毎年来られていた方には不人気だったのかもしれない。

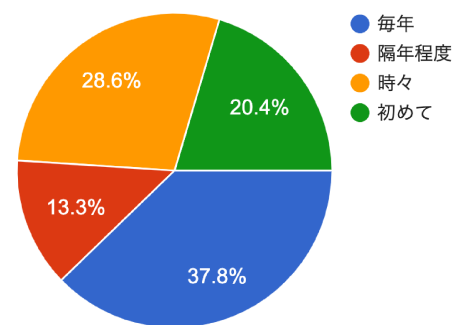
Q5 日本アイソトープ協会会員



Q6 放射線安全取扱部会員



Q7 参加頻度

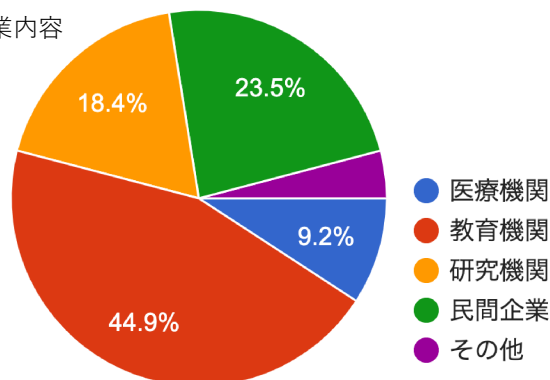


2. 所属事業所について

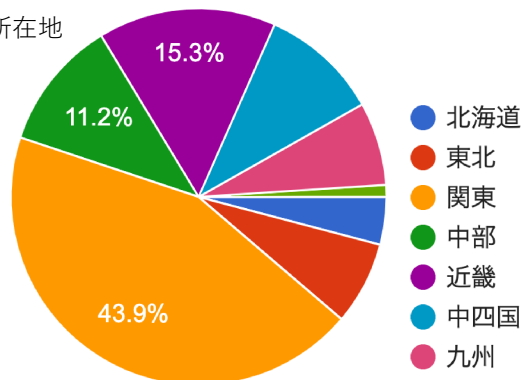
事業内容では教育機関と民間企業で約 70%、所在地の分布は関東と近畿で約 60%となり、前回とほぼ同様の傾向であった。使用形態（複数回答可）は許可（承認）使用が約 90%と圧倒的に多数を占めた。施設（複数回答可）については、非密封 RI 施設が約 80%と密封 RI 施設（48%）、放射線発生装置施設

(28%) を大きく上回った。非密封 RI の利用は年々減少しているものの、施設としては未だ多くが維持され、その管理に関わる職員も多く、本大会で情報収集を継続されていることが窺える。放射線業務従事者数は 21～100 人が最多、選任主任者数は 1 人と 2 人がほぼ同程度で、これらの結果も前回と同様であった。

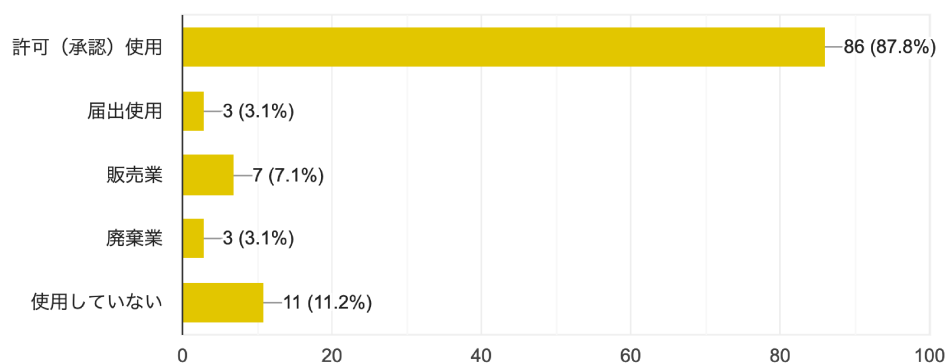
Q8 事業内容



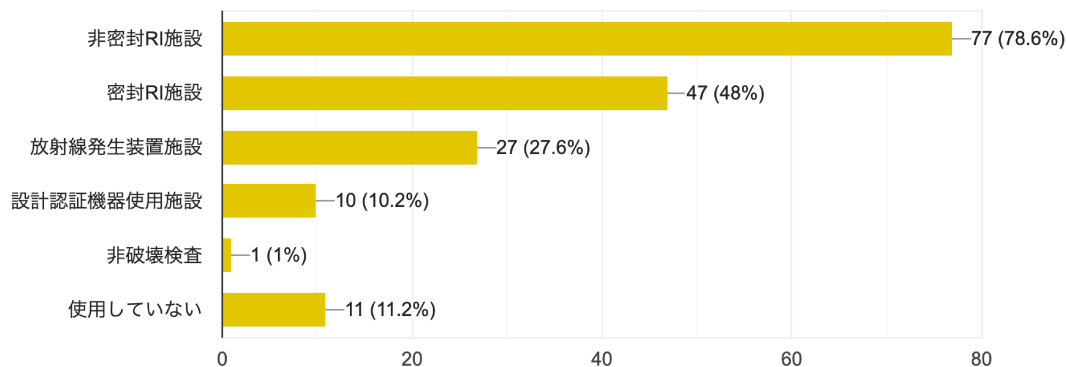
Q9 所在地



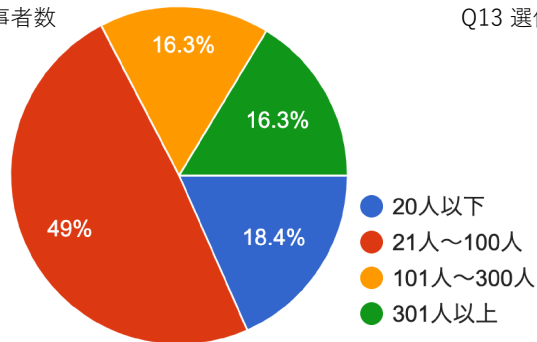
Q10 使用形態



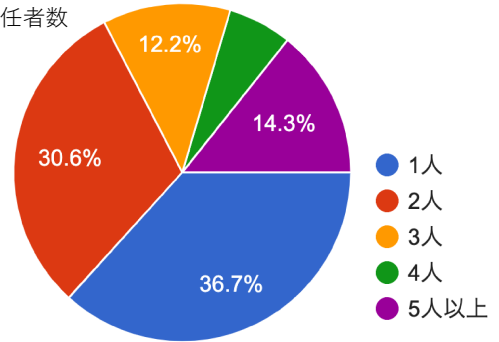
Q11 施設



Q12 放射線業務従事者数



Q13 選任主任者数

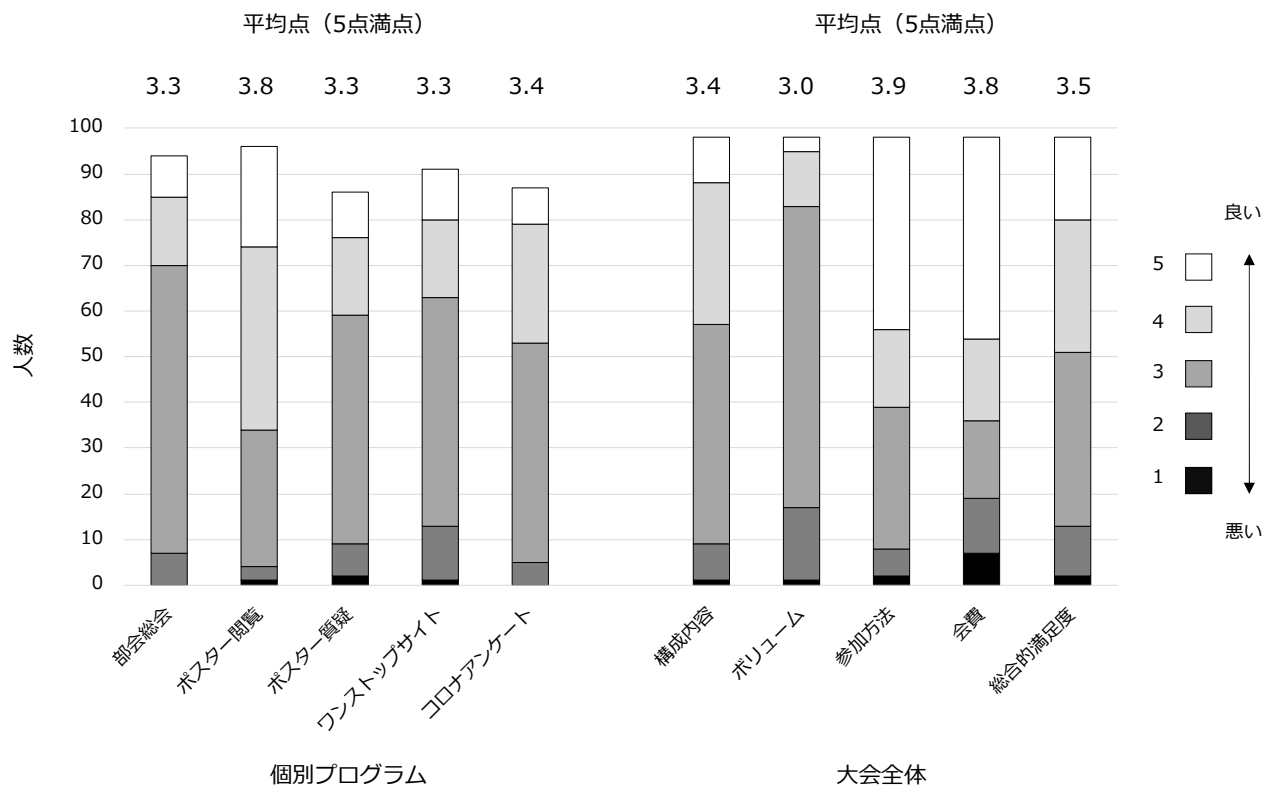


3. 年次大会について

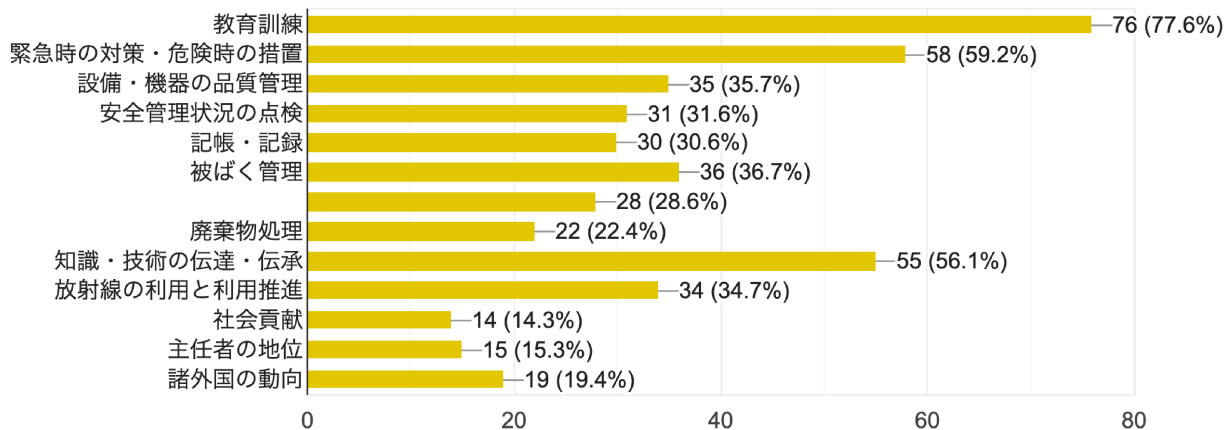
今回の Web 年次大会で提供された個別プログラムのうち、最も評価が高かったものはポスター閲覧（3.8 ポイント）で、前回（3.6 ポイント）よりも僅かに高かったが、電子掲示板機能を利用して日時を指定して行ったポスター質疑は 3.3 ポイントであった。自由記載の回答では、その場に居合わせなくてもポスター討論が確認できる、いつもよりポスター発表をじっくり見られた、など Web 開催の利点が挙げられていた反面、議論できる場がなかった点が残念との意見もあり、そのような状況が結果にも反映されているものと思われる。Web 大会の構成全体としてはほぼ及第点、参加方法と無料開催については比較的良い評価という結果であった。

放射線安全取扱部会の活動として取り上げてほしい興味あるテーマについては、毎年、トップの座にある「教育訓練」が昨年度の 54%から今回はさらに 77.6%まで大幅に上昇した。これは、コロナ禍における教育訓練の工夫にいかにか苦勞されているかということを示しているものと思われる。また、今回からテーマの一つに「知識・技術の伝達・伝承」を追加したところ、これも上位常連の「緊急時の対策・危険時の措置」（59%）に次ぐ 56%を示した。これらのテーマが、参加者の目から見た部会での活動を期待するテーマの三本柱と言えるかもしれない。

Q14 年次大会の評価



Q15 興味のあるテーマ



以上、Web アンケート調査で得られた結果をまとめた。Web 年次大会開催の経緯、年次大会の評価結果の詳細については、Isotope News 誌 2021 年 4 月号に掲載される概要報告をご参照いただきたい。

(松田尚樹)